



1年学年だより

発行日：平成 30 年 7 月 4 日（水）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：磯部 修一 NO. 3

百歌繚乱！ ～咲き誇る合唱コンクール～

6月12日（火）みなとみらいホールにて、南高校および附属中学校の合唱コンクールが行われました。去年度から、開会式の中で中高6学年による校歌の合唱が始まりました。今年度は「コンクールトップバッターの中学2年生全員がきちんと声出しができるように」と高校文化委員会が中心になって考え、中学2年生の入場方法を変更し、ホールの中で本当に6学年がそろって合唱することができました。生徒たち自身が、高校と附属中学校とともにひとつの行事を作っていく姿は、嬉しくも頼もしくもあります。

元気いっぱいの1年生、クラス合唱に初挑戦ながら堂々とのびやかに歌う2年生、ハーモニーに厚みが増し豊かな曲想で歌い上げる3年生。どの学年も、どのクラスもこの日のために練習してきたものを精いっぱい表現し、その歌声は中学1年生から高校3年生まで、学年が上がるたびに大きな成長が感じられるものでした。当日を迎えるまで、音楽科の芳賀先生と岩田先生にはたいへん熱心にご指導いただきました。コンクールを運営する文化委員さんたちも高校の先輩から、ご指導いただきました。また当日はたくさんの保護者の方にご参観いただきました。多くの方々に支えられて、百歌繚乱、花の咲き誇る合唱コンクールとなりました。ありがとうございました。

1年生学年合唱 校歌・Believe



一年生の皆さん、中学高校一緒の合唱コンクールはどうでしたか。練習の時も集中して熱心に歌っていましたが、本番の時もとても気合いを入れて、一生懸命歌っているのがよくわかりました。そしてあまり緊張せず楽しそうでしたね。聴いていた上級生や保護者の方々からの評判もよかったです。ハーモニーもきれいでしたよ。ちょっと惜しかったのが校歌のテンポが速かったことですが、ピアノ伴奏者さんがパッと対応して、きちんと全員で演奏できました。これからも歌を楽しんで、先輩方のように表現力豊かな美しいハーモニーの合唱を目指しましょうね。

音楽科・芳賀 裕子

みんなでつくりあげた素敵な合唱。感謝を胸に前進！

この数週間、休み時間に、放課後に、聴こえてくるみなさんの歌声にとても元気づけられました。合唱って素敵ですね。みなとみらいホールという大きな会場で、たくさんの聴衆を前に歌うという経験は、ほとんどの人にとって初めてだったのではないのでしょうか。一人ひとり緊張して不安が大きくても、160人が力を合わせれば、こんなに素晴らしい合唱ができるのだと改めて感激しました。

いつでも元気に集中して練習できたわけではなかったと思います。それでも、いつも笑顔でみんなをまとめた指揮者、的確な指摘でやる気を引き出したパートリーダー、本当は弾きにくかったらうキーボードで合唱を支えた伴奏者、当日まで忙しく働いていた文化委員、そしてみなさんの歌声。それぞれが支え合い、自分の役目を精一杯果たした結果が、本番の成功につながったのだと思います。

さらに、芳賀先生をはじめとする先生方、保護者のみなさま、そして会場のスタッフの方々まで、支えてくださった多くの手があったはずです。それらのすべてに感謝する気持ちを忘れずに、また前進していきましょう。

ところで、先輩たちの合唱はどうでしたか。来年以降は、クラス別でのコンクールになります。2、3年生と、1年生との一番の違いは、「聴いていただく覚悟の差」のように感じました。来年はさらにレベルアップした合唱を期待しています。やればできる！

【学年指揮者】 校歌: [] ビリーヴ: []
 【学年伴奏者】 校歌: [] ビリーヴ: []

	1組	2組	3組	4組
	校歌			
指揮者	[]	[]	[]	[]
伴奏者	[]	[]	[]	[]
	ビリーヴ			
指揮者	[]	[]	[]	[]
伴奏者	[]	[]	[]	[]
	パートリーダー			
ソプラノ	正: [] 副: []	正: [] 副: []	正: [] 副: []	正: [] 副: []
アルト	正: [] 副: []	正: [] 副: []	正: [] 副: []	正: [] 副: []
テノール	正: [] 副: []	正: [] 副: []	正: [] 副: []	正: [] 副: []

1組: [] 毎日朝学校に来ると、綺麗な歌声が聞こえていた。僕はとてもその歌声が好きだった。僕は、なぜそれほどまでに練習するのかわかっていなかったが、合唱コンクールの日に分かった。大勢の人々が見に来ていて、恥ずかしい合唱は絶対にできないような雰囲気だった。

高校生はすごかった。自分たちの何倍も本気で、上手くて、面白さとの切り替えもできていて、もう本当にすごかった。

1組: [] 私は、初めはソプラノと言われたけれど、後になって「テノールに移って」と指示され、少し動揺した。テノールは、クラス内で、私も含めて女子が2人しかいなかったのが正直不安だった。しかし、練習を重ねていくにつれ、だんだんと練習が楽しくなっていった。難しい箇所は何度もみんなで練習し、うまく歌えるようになったときにはやりがいを感じた。

2組： ████████ 合唱コンの前々日の練習では、テノールの息はぴったりで、うまく歌えていたと思います。本番の日、ワクワクしながら、みなとみらいホールへと向かいました。そして、みなとみらいホールで歌った合唱は、今までのすべての練習の成果をつないだようなものになったかと思います。来年からはクラス別「コンクール」となります。今年の成果を生かし、見ている人の心に残るような歌をクラスで歌いたいです。

2組： ████████ 私は文化委員だったので、本番中ずっとバタバタとしていたような気がする。そんなあわただしい中で伴奏をすると、心も乱れて緊張してしまうかと思ったが、実際のところは全く緊張せず冷静にいられた。やはりそれは、合唱のおかげだと思う。みんながいつも通り歌ってくれたおかげで、私も平常通りの伴奏ができた。本当に感謝している。

3組： ████████ 学年全員で合わせたとき、最初はそれほどでもなかったけれど、だんだんこの学年の元気が歌に表れてきて完成度が上がっていきました。しかし、パート練習や全体での練習のときに、少ししゃべってうるさくなってしまったのが少し残念でした。本番では、みんな緊張していたのか、ほんの少し声が小さかったですが、とてもきれいに元気に歌えて、練習してきてよかったと思いました。

3組： ████████ だんだん練習していくうちに、歌を歌うって楽しいなと思うようになった。音がずれてもみんながカバーしてくれるし、汗をかくようになり、体のいやなことが抜けていくようだった。

本番では、2年生や3年生の発表がどんどんと進んでいくにつれ、自分たちの番が近づき、緊張が高まった。校歌は、少しずれてしまったけれども、何とか良い合唱になったと思う。

4組： ████████ 私以外の人もアルトパートを歌ったことがなかったようなので、みんなで少しずつ練習していきました。その結果、私は他のパートにつられず、うまく歌えるようになりました。そして本番、練習してきたとおりの合唱ができ、とても嬉しかったです。

後日、先輩が「今年の1年生は今まで聴いた中で1番上手かった！」とってください、良い合唱ができていたんだと安心しました。

4組： ████████ 先輩たちの発表はクラス合唱なので、僕たち1年生に比べると1/4、1/5の人数なのに、歌声に重く届いてくる「庄」・「思い」のようなもの(言葉ではうまく表せませんが)があり、そこから、体の動きや表情もそうですが「僕たち、私たちはこの歌に込めてある思いを届けるんだ!!」ということを感じることができ、やっぱりすごいなと思いました。



姫のひとりごと

みなとみらいホールでの合唱コンクールは圧巻でした。

中学生の先輩方だけでなく、高校生の迫力ある合唱を聴くことができるのは、南高附属中ならではの。高校生になると、選曲はもちろん、合唱の練習やアピールタイムに至るまで、自分たちで計画し、完成させます。行事への取り組み方のお手本ですね。

もちろん、みなさんの学年合唱は一生懸命さが伝わってきて、とてもステキでした。何事にもまじめに一生懸命取り組む学年でありたいです。